

さんむのふるさと散歩

NO.37

資料館では現在「松尾城Ⅲ」——市内遺存資料——を展示しています。また、市内に残る「松尾城」遺存遺構も写真パネルで展示しています。遺存遺構をいくつか紹介いたします。

松尾小学校の校庭に大きな山ももの木（写真1）があります。この山もものは初代松尾小学校校長平川董の母が、掛川からの転封時に種子を持参し、松尾の平川邸の庭にまいたものと言われています。昭和一七年（一



写真1 松尾小学校山ももの木



▲写真2 末廣神社



◀写真3 祠

九四二に現在の地に小学校が新築されたときに現在の位置に移植されました。また、校庭には平川董先生の碑もあります。

道灌様の愛称で知られる末廣神社（写真2）は明治六年（一八七三）九月に太田家旧臣名波信忠が東京駒込の旧藩邸にあった社を移築したものです。移築時に一・八メートル

の石灯籠が一基移設されました。松尾中学校テニスコートの裏手に猿尾古墳群があります。その一基に祠が鎮座しています。（写真3）この祠は「松尾幸魂大神」と称し、松尾藩士矢部潤文が藩主の御住居（現在の松尾中学校）建築時に古墳の石棺・刀剣・人骨等が見つかり、藩主資美の命により古墳の墳頂に埋納したと、大正八年発行の千葉県誌下巻に掲載されています。

御住居建設時には五基ほどの古墳が現存していたようです。

松尾教習所周辺には土塁や土墨として転用された古墳が見られます。（写真4・5）

このように現在も多くの遺構が見られます。是非一度ご見学ください。また、3月28日（日）まで資料館で展示しています。



写真4 土塁



写真5 蕪木六号墳（土墨転用）

問 歴史民俗資料館 ☎ (82) 28442